

## 序 章 本研究の目的と方法

### はじめに

総合高等職業訓練校における訓練生調査が訓大調査研究部で着手されたのは、昭和43年である。初年度には知能、職業適性検査からみた素質、および職業興味における訓練生の特徴を検証<sup>1)</sup>し、さらに昭和44年、昭和45年と継続した調査により、素質ならびに職業興味の年次的変化、訓練生の個性プロフィールを把握した。<sup>2)3)</sup> さらに、昭和46年には家庭環境の特徴をも明らかにした。<sup>4)</sup>

このように、訓練生の素質など個人的特徴ならびに家庭環境の全般的な実態はかなり明確になったが、総高訓において指導員が直接的に解決をのぞんでいる問題、さらには訓練生が悩んでいる現象の解明が充分にはなされていなかった。

そこで、現実的な問題の一つである、訓練生の中退現象をとりあげ、中退訓練生に対する正しい対処の仕方をみいだすと同時に、この中退訓練生をとおして、訓練生理解をより深めようとするものである。

- 
- 1) 訓大調査研究部 :  
総合職業訓練所訓練生の素質調査  
(訓大調研報告書第15号) 1968
  
  - 2) 訓大調査研究部 :  
総合職業訓練校訓練生の素質調査  
(訓大調研報告書第21号) 1969
  
  - 3) 訓大調査研究部 :  
総高訓生の素質調査 (過去3ヶ年の総合報告)  
(訓大調研報告書第22号) 1970
  
  - 4) 訓大調査研究部 :  
総高訓生の家庭環境調査  
(訓大調研報告書第28号) 1971

## 第1節 本研究の目的

職業訓練における諸問題の改善を念頭におきつつ、総高訓の中退訓練生の行動および意識の実態を明らかにすることを目的とする。

具体的な調査目標はつきのごとくである。

- (1) 総高訓高等訓練課程における中退現象の全般的動向を把握すること。
- (2) 中退理由および中退経過のありのままの現実を把握すること。
- (3) 中退訓練生群の個性( Personal traits )を修了訓練生群のそれと対比すること。
- (4) 中退理由分類群ごとの中退訓練生のプロフィール(横顔)を描きだすこと。

## 第2節 調査方法

調査方法の全体は第1図に示すように、中退現象の性格から複雑多岐にならざるをえなかった。調査期間は昭和44年10月から、昭和47年12月までの約3ケ年である。

主な調査方式、および調査時期、調査対象者数は第2表のごとくである。

次に、調査目的に対応して、調査方法の概要を述べる。

- (1) 中退現象の全般的動向を把握するために、全国総高訓校長あてに、所定の調査用紙を送付し、中退者数、および各科ごとの定員、入校数の報告を求める方式をとった。
- (2) 中退理由と経過の把握のために、中退訓練生のクラス担任指導員に面接し、①中退理由、②中退経過、③在籍中の学習状況、④訓練成績、⑤中退後の進路等を聴取する方式をとった。
- (3) 中退訓練生群の Personal traits を把握するに、次の四つの心理検査を用いた。
  - ①藤原式職業興味検査
  - ②矢田部ギルフォード性格検査
  - ③田中B全式知能検査
  - ④労働省編 職業適性検査(第二)
- (4) 中退訓練生のプロフィール分析の資料は、(2)、(3)の調査方式とほぼ同様の方式で収集した。  
なお、プロフィール記述はおおよそ、次の通りである。

### (A) 担任指導員の報告

- ①入校してから中退にいたる経過
- ②中退時の中退理由
- ③訓練校在籍中の訓練成績、学習状況
- ④中退時の面接状況
- ⑤中退後の進路

### (B) 家庭の状況 (家庭環境調査)

### (C) 訓練生個性調査プロフィール

- ①職業興味プロフィール

②知能偏差値

③職業適性プロフィール

④性格プロフィール

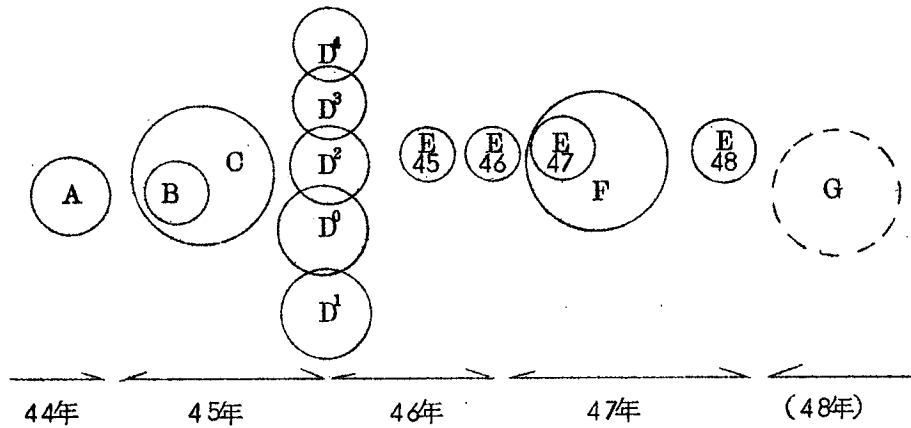
なお、個性調査プロフィール、家庭現況調査は中退訓練生が在籍中であつた、1年生10  
月時点で把握したものである。<sup>5)</sup>

---

5) 調査時点を1年生10月にしたのは、訓練校環境の影響による。

素質ならびに職業興味が若干妥当してくる時期とみたからである。

第1図 調査方法と調査対象 【事例207】



(調査名)	(実施月)	(対象校)	(中退期)	(調査方法)
A:	45/10	14校	44. 10 (1) 45. 10 (2)	郵送法
B:	45/10	10校	45. 4 (1) 45. 10 (2)	郵送法
C:	45/10	14校	45. 4 (1) 45. 10 (2)	郵送法
D1:	46/10	鳥取	45. 10 (1) 46. 10 (2)	指導員面接法
D2:	46/10	山口	"	
D3:	47/8	千葉	45. 10 (1) 47. 8 (2)	
E45:	47/11	千葉	45. 4 (1) 46. 3 (2)	転記法
E46:	47/11	"	45. 4 (1) 47. 3 (2)	
E47:	47/11	"	47. 4 (1) 47. 10 (2)	
F:	47/10	54校	47. 4 47. 10	郵送法
(G:)	48/10	千葉	Follow up 法	

	調査項目	事例数	事例番号	プロフィール	調査法	調査時点
1	44年度1年生14校調査	96	025~036(S) 037~115	P	郵送送 44.10~45.10	45/10
2	45年度1年生千葉高訓調査	9	001~009(S)	P	面接法 45.10~47.3	47/8
3	45年度1年生山口高訓調査	10 (2)	010~019(S) 206.207	P	面接法 45.10~46.10	46/10
4	45年度1年生鳥取高訓調査	5	020~024(S)	P	面接法 45.10~46.10	46/10
5	45年度千葉高訓 1年生	14	120-134		転記法 45.4~46.3	
	" 2年生	5	135-139			
6	46年度千葉高訓 1年生	32	140-171		転記法 46.4~47.3	47/11
	" 2年生	1	119			
7	47年度千葉高訓 1年生	26	172-197		転記法 47.4~47.10	
	" 2年生	7	198-205			
8	45年度1年生岡山総訓調査				面接法	47/12
9	45年度1年生愛知総訓調査				面接法	47/12
10	45年度1年生八幡総訓調査				面接法	46/6

第2表 調査方法と事例番号